



# ほけんだより

令和3年6月号  
明照保育園



## 【はじめに】

緊急事態宣言が延長され市内でも新型コロナウイルスの感染者も増えてきている今、ひとり一人の行動や意識が大切になってきますね。今まで同様に手洗い消毒を徹底しましょう。

また、乳児クラスを中心に5月の中旬頃から嘔吐や下痢の症状が出ています。嘔吐や下痢はアルコール消毒ではなく、塩素系漂白剤・熱湯消毒などが有効です。それぞれに合った消毒を使うようにしましょう。

## 【歯科健診について】

6/17(木)に行います。

当日の朝もしっかり歯を磨いて登園しましょう。

★ 年長児になっても、毎日の仕上げみがきは大人がしっかりと！  
毎年、年中児頃から急に虫歯の数が増える傾向にあります。

“子どもが自主的に”という年齢でもありますが、歯磨きについては大人による“仕上げみがき”が重要です。



## 卒乳時期と虫歯の関係

～厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイトより～

乳幼児期における哺乳瓶による不適切な飲料の与え方、あるいは卒乳時期を逃した授乳、特に夜間の授乳は特有の虫歯の症状を引き起こすことがあります。乳歯が生え始め、離乳食が始まったら、哺乳瓶を使って甘味飲料を与えることを避けるとともに、寝ながらの授乳は控えるようにしましょう。乳幼児期の虫歯の発症には多くの要因が関わっているため、卒乳に関する適切な対応とフッ化物の応用などを含むむし歯予防の実践が求められます。

このほかにも卒乳時期・子どもの睡眠など様々な情報があります。興味のある方は是非ご覧ください。(e-ヘルスネット 厚生労働省)



## 【水遊びについて】

毎年6月の中旬頃から水遊びを行っています。現在小中学校ではプールの授業を見合わせている状況でもあり、園でも新型コロナウイルスの感染状況を見ながら検討していきます。水遊びやプール遊びを思い切り楽しめるように日ごろから感染症に気を付けましょう。

皮膚のトラブルがある場合は今のうちに受診しておくといいでしょう。  
以下の場合は水遊びやプール遊びはできません。

- ◎せき、鼻水、微熱がある、おなかの調子が悪い、体調がすぐれない時。
- ◎薬を持って登園している。
- ◎目が赤く充血している。普段より多く目やにが出ている。
- ◎耳を痛がる。のどが赤い、痛い。
- ◎虫刺されや傷等で皮膚の状態がよくない。
- ☞水いぼやとびひについてはかかりつけ医に相談して下さい。
- ◎つき・はな・ほしぐみで水泳帽・タオル等を忘れた子。(園の共有を避けるため)

## カウンセラーだより ～コロナごっこはやめさせた方がいい？～

こんにちは！6月に入り日中は汗ばむ日も増えてきましたね。世の中はまだまだ落ち着かない状況が続いていますが、皆さんも体調とメンタルの不調には早め早めに対処していきましょう。この間あるところで保護者の方に「子どもが“コロナごっこ”をして困っています。やめさせた方がいいのでしょうか？」という相談を受けました。どうやら遊びで“コロナ”をテーマにした遊びがよく出るようになってきているようです。そのような子どもの様子はたしかに大人からしたら心配になってしまいますよね。しかし、あくまで周りの人を攻撃したりするものでないという前提の上で、カウンセラーという立場からするとコロナごっこは無理に止める必要があるものではないと考えます。子どもは大人と比べて自分の気持ちや体験を言葉で表現することが難しいです。その代わりに、子どもはことばで表現できない気持ちなどを、いろいろな形で表現しようとします。そのひとつが“あそび”です。東日本大震災を経験した子どもたちの中にも、避難所で“地震ごっこ”や“津波ごっこ”をする子がよく見られました。子どもたちなりに、自分が体験している不安などを、“あそび”を通して整理し、理解しようとしているのかもしれない。そのため、そのような遊びを無理に止める必要はなく、そっと見守ってあげたり、一緒に遊んであげてもいいかもしれませんね。もちろん、生活の中でこれまで見られなかった心配な行動などが増えてきたときには、いつでも相談して下さいね。一緒に子どものことについて考えましょう(^o^) 保育カウンセラー・中島たかひろ

## 【おわりに】

梅雨入りし緊急事態宣言も延長され気分も晴れませんね。雨が降っていないときは家の外に出て少し体を動かすと気分転換になるかもしれません。この時期は体調も崩しやすいので、栄養のあるものをしっかり食べて、たくさん睡眠をとってみんなで乗り切りましょう！！